

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	利用者より希望が出るが出来る事が限られてしまう	職員が利用者に対して出来る事を提供する	利用者の身体機能に合ったものを考え提供する	3ヶ月
2	36	聴覚に難ある利用者に対してコミュニケーション・意志疎通をとりづらい	誤解なく難聴の利用者とも円滑にコミュニケーションできるようにしていく	ホワイトボード使用し筆談等で会話し、身振り手振りや聴こえるような声掛けを理解するまで行う	3ヶ月
3	43	利用者の身体能力低下によるトイレでの排泄困難	歩行しにくくなった方でも無理のない程度に本人に合わせて歩行しトイレの排泄を心がける	本人の残存機能活かし歩行・運動で筋力低下防ぎ、トイレで排泄してもらう	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。